

会計名			文化協会育成事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	1					作成者	西川 瑛輔	
P L A A N 事 業 概 要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 文化・芸術 活動の支援体制の充実						
	目的	様々な文化創造活動を行う市民が所属する刈谷文化協会の育成や刈谷100景展への支援を通して、文化創造活動への市民の積極的な参加を促す。				主たる内容	市民文化祭を主催する刈谷文化協会への補助金の交付や、刈谷をテーマとする文化事業に助成。また、協会事務を担当する文化振興指導員等の臨時職員を雇用する。		
	対象者	対象者を限定せず							
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画				
	事業期間	不明～	根拠法令						
B D O 事 業 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	<ul style="list-style-type: none"> 刈谷文化協会へ団体補助 刈谷100景展受賞作品の報奨金 文化振興指導員他の臨時職員雇用 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷文化協会へ団体補助 刈谷100景展受賞作品の報奨金 文化振興指導員他の臨時職員雇用 愛知県民茶会に補助 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷文化協会へ団体補助 刈谷100景展受賞作品の報奨金 文化振興指導員他の臨時職員雇用 		<ul style="list-style-type: none"> 刈谷文化協会へ団体補助 わたしの刈谷展受賞作品の報奨金 文化振興指導員他の臨時職員雇用 協会創立35周年事業への補助 		
	成果 (できたこと)	補助金を交付することで、のべ1万人が参加した市民文化祭など市民の創作活動の発表の機会となる様々な事業が開催されるなど、市民の文化振興に寄与することができた。							
	課題 (できなかったこと)	会員数が横ばい傾向であるので、新規会員の若年層への訴求を高める必要がある。							
	指標名称			実績値			目標値		
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
加盟団体会員数			2,487人	2,497人	2,507人	2,464人	2,500人		
他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円			8,246	6,763				
	事業費	5,607	9,678	5,709	6,002	7 賃金	3,558,800 円		
	特定財源		0	0	0	8 報償費	200,000 円		
	一般財源		9,678	5,709	6,002	19 負担金、補助及び 交付金	1,950,000 円		
	職員人件費			2,537	761	合計	5,708,800 円		
建設事業	全体事業費	0		備考(補助名称等)					
	22年度迄の累積事業費	0							
	24年度以降の事業費見込								

会計名 一般会計			市史資料整理活用事業				担当部 生涯学習部	
款 10			項 5				担当課 文化振興課	
目 1			分野 教育文化 歴史・文化財 文化財の保護・伝承・活用				課等長名 渡部 高幸	
							作成者 村瀬 典章	
P L A A N 事業概要	目的	市史編さん後の資料整理と新資料の発掘・整理を行い、歴史的資料の保存と活用を図る。また、資料の公開に向けて資料整理をし、活用する。				主たる内容	市史だよりの発行（年1回）市内外における資料の発見・調査を行い、刈谷に関するすべての関係資料を収集し、資料目録を作成する。資料のマイクロ化を行う。	
	対象者	対象者を限定せず						
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画			
	事業期間	H7～	根拠法令	公文書館法、博物館法、文化財保護法				
B D O 実績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
	・市史だよりの発行(2回)		・市史だよりの発行(1回)		・市史だよりの発行(1回)		・市史だよりの発行(2回)	
	成果 (できたこと)	古文書マイクロフィルム化委託事業と連動させ、マイクロフィルム化を進めている。市史だよりを発行することで、現在の資料整理や調査状況を広く一般に公表し、事業の遂行状態を知らせることができた。						
	課題 (できなかつたこと)	新資料が年々増加しており、調査・整理作業等が希望どおりに進行できずにいる。						
	指標名称			実績値			目標値	
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度
調査・整理資料点数			239点	1,898点	1,787点	1,000点	1,000点	
他市との比較検証								
C 事業コスト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円			6,680	7,225	7 賃金	1,618,960 円	
	事業費	6,181	5,163	4,868	5,322	8 報償費	10,000 円	
	特定財源		77	69	124	9 旅費	53,930 円	
	一般財源		5,086	4,799	5,198	11 需用費	2,597,158 円	
	職員人件費			1,812	1,903	12 役務費	50,891 円	
建設事業	全体事業費		備考(補助名称等)		13 委託料	147,000 円		
	22年度迄の累積事業費				14 使用料及び賃借料	299,953 円		
	24年度以降の事業費見込				18 備品購入費	84,000 円		
					19 負担金、補助及び交付金	6,600 円		
					合計	4,868,492 円		

会計名 一般会計			音楽振興活動補助事業				担当部 生涯学習部	
款 10			項 5				担当課 文化振興課	
目 1			課等長名 渡部 高幸				作成者 西川 瑛輔	
P A L A N 事業概要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 文化・芸術 活動の支援体制の充実					
	目的	本市は刈谷市文化振興基本計画で特色として「音楽のあるまちづくり」を掲げており、この施策実現の一翼を担う刈谷音楽協会が主催する事業へ補助金を交付することにより、刈谷の音楽文化の更なる発展に資するため。				主たる内容	音楽協会の行う演奏会、演奏指導（クリニック）の開催支援	
	対象者	対象者を限定せず						
	実施方法	直営	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画			
	事業期間	H18～	根拠法令					
B D O 事業実績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
	・6月1日 第4回刈谷音楽祭開催 ・12月7日 第3回刈谷音楽協会演奏会開催		・6月14日 第5回刈谷音楽祭開催 ・12月20日 第4回刈谷音楽協会演奏会開催		・12月5日 第6回刈谷音楽祭開催		・6月12日 第7回刈谷音楽祭開催(予定) ・12月 第6回刈谷音楽協会演奏会開催(予定)	
	成果 (できたこと)	刈谷音楽協会による音楽振興に資する事業に補助金を交付することにより、毎年事業の充実が図られ市民の音楽振興に寄与することができた。						
	課題 (できなかったこと)	総合文化センターの開館により、さらに刈谷音楽協会を中心に市民参加による刈谷の音楽文化の振興を図る必要がある。						
	指標名称			実績値			目標値	
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
協会会員数			63人	67人	67人	70人	70人	
他市との比較検証								
C 事業コスト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円			1,317	1,561	19 負担金、補助及び 交付金	591,908 円	
	事業費	671	800	592	800	合計	591,908 円	
	財源	特定財源	0	0	0			
	一般財源	800	592	800				
	職員人件費			725	761			
建設事業	全体事業費		備考(補助名称等)					
	22年度迄の累積事業費							
	24年度以降の事業費見込							

会計名			古文書マイクロフィルム化委託事業				担当部	生涯学習部
一般会計							担当課	文化振興課
款	項	目					課等長名	渡部 高幸
10	5	1	作成者	村瀬 典章				
P L A A N 要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 歴史・文化財 文化財の保護・伝承・活用				主たる内容	古文書の目録を作成し、データ入力をし、データベース化する。古文書のマイクロ撮影を行った後、紙焼きをし、閲覧できるようにする。
	目的	古文書の保存と活用を行う。						
	対象者	対象者を限定せず						
	実施方法	全部委託	位置づけ	関連計画				
	事業期間	H21～H23	根拠法令	公文書館法				
B D O 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
	—		・マイクロフィルム撮影、紙焼き 80,000コマ ・古文書データベース 28,000点		・マイクロフィルム撮影、紙焼き 100,000コマ ・古文書データベース 20,000点		・マイクロフィルム撮影、紙焼き 200,000コマ	
	成果 (できたこと)	大量の資料のマイクロフィルム撮影、紙焼きを行うことで、古文書を適正に管理し、一般に公開できるよう整備することができた。						
	課題 (できなかったこと)	平成23年度までの緊急雇用創出事業基金事業費補助金で実施した。今後も継続して保存と活用を行う必要がある。						
	指標名称			実績値			目標値	
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
マイクロ撮影、紙焼き			—	80,000コマ	100,000コマ	200,000コマ	—	
他市との比較検証		愛知県 県史編さんに伴う資料のマイクロフィルム化						
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳	
	単位：千円				18,670	27,680	13 委託料	17,220,000 円
	事業費			14,700	17,220	27,300	合計	17,220,000 円
	特定財源			14,700	17,220	27,300		
	一般財源			0	0	0		
	職員人件費				1,450	380		
建設事業	全体事業費		0		備考(補助名称等)			
	22年度迄の累積事業費		0		緊急雇用創出事業基金事業費補助金			
	24年度以降の事業費見込							

会計名			民俗芸能啓発事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	1					作成者	西川 瑛輔	
P L A A N B D O C	事業概要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 文化・芸術 創作・発表の機会づくり					
		目的	刈谷市固有の無形民俗文化財の保存・伝承を図ることにより、先代がこれまで培ってきた歴史や文化財を次代に継承する。				主たる内容	無形民俗文化財の継承団体が県民俗芸能大会等に出演する経費を補助する。	
		対象者	対象者を限定せず						
		実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画			
		事業期間	H22～		根拠法令				
事業実績	実績	20年度実績	21年度実績		22年度実績		23年度計画		
		成果 (できたこと)	刈谷市で県民俗芸能大会を開催したことで、刈谷市の無形民俗文化財である万燈祭を始め、普段は見ることのできない他市町の民俗芸能を観客に広く披露することができ、来場者へ民俗芸能への保存・伝承の理解と認識を深めることが出来た。						
		課題 (できなかったこと)	披露する機会を継続的に確保する必要がある。						
		指標名称	実績値			目標値			
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
無形民俗文化財の出演団体数	-	-	2団体	1団体	1団体				
他市との比較検証									
事業コスト	コスト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
		単位：千円			4,256	4,845	11 需用費	135,450 円	
		事業費			1,357	1,800	13 委託料	765,765 円	
		特定財源			0	0	14 使用料及び賃借料	155,660 円	
		一般財源			1,357	1,800	19 負担金、補助及び交付金	300,000 円	
職員人件費			2,899	3,045	合計	1,356,875 円			
建設事業	建設事業	全体事業費	0		備考(補助名称等)				
		22年度迄の累積事業費	0						
		24年度以降の事業費見込							

会計名			旧市民会館取壊し事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	1	作成者	西川 瑛輔					
P L A A N	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 文化・芸術 文化芸術の拠点づくり			主たる内容	市民会館を解体する。		
	目的	総合文化センターの開館により、文化施設の機能を整理するため。							
	対象者	対象者を限定せず							
	実施方法	全部委託	位置づけ	関連計画					
	事業期間	H22～H22	位置づけ	根拠法令					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	—		—		・解体工事		—		
	成果 (できたこと)	平成22年3月末をもって閉館した旧市民会館の解体工事を平成23年2月において完了した。跡地は防災機能を有した公園として整備する予定である。							
	課題 (できなかったこと)								
	指標名称			実績値			目標値		
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
他市との比較検証									
C 事業 コスト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円			114,167		11 需用費	911,214 円		
	事業費			110,543		13 委託料	3,622,500 円		
	特定財源			113		15 工事請負費	106,008,840 円		
	一般財源			110,430		合計	110,542,554 円		
	職員人件費			3,624					
建設事業	全体事業費			備考(補助名称等)					
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名			刈谷検定開催事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					課等長名	渡部 高幸		
10	5	1					作成者	西川 瑛輔		
P A L A N 要	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 文化・芸術 鑑賞・体験の機会づくり						
	目的		刈谷の偉人や著名人、歴史や文化、産業、観光などをテーマにその知識を測る検定試験を実施することで、市民に地元の魅力を認識してもらうとともに、郷土に対する愛着を高め、市外の方々に対しても刈谷市の魅力を発信し、刈谷をPRする。			主たる内容		一般コース・中学生コース・小学生コースの3コースで検定を実施。 日時 11月7日(日) 場所 刈谷市総合文化センター 各コース定員100名 合計300名 合格基準 正答率70%		
	対象者		小学生以上							
	実施方法		直営	位置づけ	関連計画 刈谷市文化振興基本計画					
	事業期間		H22～H22		根拠法令					
B D O 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	_____		_____		<ul style="list-style-type: none"> 一般コース 受験者数 73人 平均点 49.64点 中学生コース 受験者数 80人 平均点 56.53点 小学生コース 受験者数 49人 平均点 51.47点 		_____			
	成果 (できたこと)		幅広い年代から受験申込があり、刈谷の様々な分野の問題に挑戦した。また、検定終了後に地元紙に出題が掲載され、より多くの市民が問題に挑戦し刈谷に関する興味・関心を高めるきっかけとなった。							
	課題 (できなかったこと)		受験者には好評であったが、年齢別に3コースに分けて開催したため、受験者が分散し、各コースとも定員を満たすことはできなかった。							
	指標名称			実績値			目標値			
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度			
受験者数			-	-	202人	-	-			
他市との比較検証										
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				3,255		8 報償費	95,000 円		
	事業費				356		11 需用費	217,350 円		
	特定財源				0		14 使用料及び賃借料	43,640 円		
	一般財源				356		合計	355,990 円		
	職員人件費				2,899	0				
建設事業	全体事業費		0		備考(補助名称等)					
	22年度迄の累積事業費		0							
	24年度以降の事業費見込									

会計名 一般会計			文化財保存整備事業				担当部 生涯学習部
款 10			項 5				担当課 文化振興課
目 2			分野 教育文化 歴史・文化財 文化財の保護・伝承・活用				課等長名 渡部 高幸
							作成者 西村 知余子
P A L A N 事業概要	目的	文化財の保護と整備を行い、適切な文化財の管理を図るため。				主たる内容	市内の文化財および史跡等を適切に管理・整備し市民への普及に努めていくため、歴史の小径のパンフレット等の改訂・印刷や既存史跡の維持管理費および剪定等の管理委託と文化財説明板の修繕などを実施する。また、適切な史跡管理と文化財保護の手法等を他県の例から積極的に学ぶ機会として、市文化財保護審議会委員の研修を実施する。
	対象者	一部は職員および関係者対象経費、その他は対象者を限定せず					
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画		
	事業期間	不明～	根拠法令				
B D O 事業実績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画
	・椎の木屋敷跡他5箇所史跡管理委託実施 ・歴史の小径増刷 ・文化財ガイドマップ作成 ・文化財保護審議会委員県外研修(秩父市・川越市他)		・椎の木屋敷跡他5箇所史跡管理委託実施 ・歴史の小径増刷 ・文化財保護審議会委員県外研修(新潟市・長岡市)		・椎の木屋敷跡他5箇所史跡管理委託実施 ・歴史の小径増刷 ・文化財保護審議会委員県外研修(府中市・松戸市他)		・椎の木屋敷跡他6箇所史跡管理委託実施 ・歴史の小径増刷 ・文化財保護審議会委員県外研修(関西方面を予定)
	成果 (できたこと)	歴史の小径マップを市内各所で一般市民や史跡めぐりの際に配布することにより、刈谷の歴史文化の普及に努めている。文化財保護審議会委員の県外研修は、当市文化財保護活動に有益な情報を他市の事例を参考に学び、刈谷の文化財行政に反映させる機会として有益に実施された。					
	課題 (できなかったこと)	啓発の度合いを強めるとマップ等がすぐに切れてしまうので、適切に活用してもらうよう依頼と、在庫管理を徹底する必要はある。史跡管理には地区や近隣住民との調整事項が発生することもあるが、その対応をどのようにするかが、常に苦慮する点である。					
指標名称			実績値			目標値	
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度
歴史の小径の整備			77%	80%	82%	85%	88%
他市との比較検証							
C 事業コスト	総事業コスト	20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(予算)	平成22年度 事業費内訳	
	単位：千円			4,236	5,789	9 旅費	122,620 円
	事業費	4,001	3,968	3,511	4,266	11 需用費	541,183 円
	特定財源		10	10	19	12 役務費	26,859 円
	一般財源		3,958	3,501	4,247	13 委託料	2,811,480 円
	職員人件費			725	1,523	14 使用料及び賃借料	8,820 円
建設事業	全体事業費		備考(補助名称等)		合計		3,510,962 円
	22年度迄の累積事業費						
	24年度以降の事業費見込						

会計名			国指定文化財保護増殖事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	2					作成者	松本 育子	
P L A A N	分野	教育文化 歴史・文化財 文化財の保護・伝承・活用							
	第7次総合計画	基本施策 施策の内容							
	目的	国指定天然記念物である小堤西池のカキツバタ群落の保護増殖を図る。				主たる内容		保存対策調査委員会において植生調査・保護対策を行う。 調査委員会の指導に基づき、小堤西池の水質水位の継続した調査を行う。 カキツバタ保護増殖のための除草・枯木・倒竹処理等の業務を委託する。 カキツバタ開花期の鑑賞者に対し、駐車場案内等の警備や案内の業務を委託する。	
	対象者	対象者を限定せず							
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画	小堤西池カキツバタ群落保存管理計画				
事業期間	不明～	根拠法令	文化財保護法						
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	<ul style="list-style-type: none"> 保存対策調査委員会開催 水質、水位調査 除草、清掃 遺伝子解析 		<ul style="list-style-type: none"> 保存対策調査委員会開催 水質、水位調査 除草、清掃 遺伝子解析 		<ul style="list-style-type: none"> 保存対策調査委員会開催 水質、水位調査 除草、清掃 遺伝子解析 		<ul style="list-style-type: none"> 保存対策調査委員会開催 水質、水位調査 除草、清掃 ナラ枯れ被害木処理 		
	成果 (できたこと)	平成21年度に比較して、カキツバタ開花時に多くの花が咲いたと思われる。COP10パートナーシップ事業の関連のため、自然見学会の開催回数を増やしたことで、多くの参加者を得た。							
	課題 (できなかったこと)	カキツバタ開花時には多くの見学者がみられるが、花が少なくなった等の声も聞かれ、更なるカキツバタ等の保護増殖が求められるが、天然記念物であるため保護活動にも制限があり、その中で適切に保護増殖を図っていかねばならない。							
	指標名称			実績値			目標値		
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
管理計画策定等の達成度			60.0%	65.0%	70.0%	75.0%	80%		
他市との比較検証									
C 事業 コスト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円			8,306	10,917				
	事業費	11,036	5,528	5,769	5,969	8 報償費	137,000 円		
	特定財源		0	0	0	9 旅費	8,040 円		
	一般財源		5,528	5,769	5,969	11 需用費	553,511 円		
	職員人件費			2,537	4,948	13 委託料	5,070,450 円		
建設事業	全体事業費	0		備考(補助名称等)		合計			
	22年度迄の累積事業費	0				5,769,001 円			
	24年度以降の事業費見込								

会計名			発掘調査出土遺物整理事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					課等長名	渡部 高幸		
10	5	2					作成者	鶴飼 堅証		
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 歴史・文化財 文化財の保護・伝承・活用						
	目的		埋蔵文化財の保存・活用のため。			主たる内容	臨時職員による出土遺物の整理、資料作成を実施。試掘調査や緊急発掘調査により市内の遺跡から出土した埋蔵文化財は、毎年の調査により増加している。これらを保存・活用していくため、遺跡毎に遺物の洗浄・注記・接合・復元・実測等の整理作業を行い、将来報告書を刊行して公開するための作業を行う。また年々増加する資料を効率よく収納するとともに収蔵台帳を整備し資料調査に対応しやすくする。			
	対象者		対象者を限定せず							
	実施方法		直営	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画				
事業期間		不明～		根拠法令	文化財保護法					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	・大西東貝塚出土遺物 1次整理(洗浄・注記)		・宮東第1号貝塚出土遺物 1次整理(洗浄・注記) ・刈谷城跡出土遺物 1次整理(洗浄・注記)		・中条遺跡出土遺物 1次整理(洗浄・注記) ・宮東第1号貝塚出土遺物 1次整理(洗浄・注記) ・西石根8・9号窯出土遺物 1次整理(洗浄・注記)		・大西貝塚出土遺物 1次整理(洗浄・注記)			
	成果 (できたこと)		緊急発掘調査を行った各遺跡とも、出土遺物の1次整理(洗浄・注記)まではすべて実施できたため、市民の見学や専門家の資料調査に対応できるようになった。 郷土資料館改修工事に伴い、平成21年度末に郷土資料館収蔵の埋蔵文化財を資料館分室に移動・収蔵し、収蔵台帳を整備した。							
	課題 (できなかったこと)		2次整理(接合・復元・実測)まで作業を進め、報告書等の形で公開・活用する形には至っていないため、計画的に検討する必要がある。 埋蔵文化財の対応件数は年度ごとにばらつきがあるがおおむね増加の傾向にあり、出土遺物も増加しているため、収蔵スペースの確保が急務になっている。							
		指標名称			実績値			目標値		
					20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
		1次整理作業実施率			100%	100%	100%	100%	100%	
		他市との比較検証								
C 事業 コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				4,229	5,021	7 賃金	3,235,120 円		
	事業費		3,707	3,521	3,504	3,879	9 旅費	3,760 円		
	特定財源			36	32	58	11 需用費	81,857 円		
	一般財源			3,485	3,472	3,821	14 使用料及び賃借料	183,750 円		
	職員人件費				725	1,142	合計	3,504,487 円		
建設事業		全体事業費		0	備考(補助名称等)					
		22年度迄の累積事業費		0						
		24年度以降の事業費見込								

会計名			史跡めぐり開催事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	2					作成者	西村 知余子	
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 歴史・文化財 文化財の保護・伝承・活用					
	目的		市民が刈谷の文化財や歴史に触れ・学ぶ機会を提供するため。			主たる内容	史跡めぐりの開催および学校等へのふるさとガイドボランティア派遣を行う。市内に設定してある「歴史の小径」をふるさとガイドボランティアの案内を受けながら、楽しく気軽に歴史に触れながら散策する。		
	対象者		対象者を限定せず						
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画			
	事業期間		H15～		根拠法令				
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	成果 (できたこと)		刈谷の文化財、歴史を学ぶ機会として広く認知されており、コース設定を工夫したり説明方法を随時自主学習するなどしている結果、毎回史跡めぐりには予定人数を超える多くの参加者があり好評を博している。近年では愛知県観光協会にガイドボランティアとして登録し、県内のボランティア団体との交流および講師、パネリストとしての参加を通じ、市外でも刈谷をPRする活動を積極的に展開している。						
	課題 (できなかったこと)		会員の高齢化が問題となってきた。今後は、ガイドボランティア養成講座を定期的にも実施することにより、新たな会員の開拓と育成を目指していきたい。						
	指標名称		実績値			目標値			
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
史跡めぐり参加者数		219人	175人	203人	150人	150人			
他市との比較検証									
C 事業コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				1,982	2,085	11 需用費	7,069 円	
	事業費		180	183	170	182	13 委託料	163,000 円	
				0	0	0	合計	170,069 円	
	特定財源			0	0	0			
	一般財源			183	170	182			
職員人件費				1,812	1,903				
建設事業	全体事業費		0		備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費		0						
	24年度以降の事業費見込								

会計名			依佐美送信所記念館ガイド事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					課等長名	渡部 高幸		
10	5	2	作成者	松本 育子						
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 歴史・文化財 文化財の保護・伝承・活用						
	目的		依佐美送信所記念館来館者の対応を行う。			主たる内容	依佐美送信所記念館における機器説明等、館内ガイドを行う。また、パンフレットを作成する。			
	対象者		対象者を限定せず							
	実施方法		全部委託	位置づけ	関連計画					
	事業期間		H20～		根拠法令					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	<ul style="list-style-type: none"> ガイドボランティア委託 入館者数 47,041人 ボランティアガイド 142件 4,906人 		<ul style="list-style-type: none"> 依佐美送信所記念館パンフレット作成 ガイドボランティア委託 入館者数 38,899人 ボランティアガイド 134件 3,998人 		<ul style="list-style-type: none"> ガイドボランティア委託 入館者数 31,699人 ボランティアガイド 127件 3,025人 		<ul style="list-style-type: none"> 依佐美送信所記念館パンフレット増刷 ガイドボランティア委託 入館者数(～9月)15,214人 ボランティアガイド(～9月)64件 1,632人 			
	成果 (できたこと)		土・日・祝日の一般入館者に向けたガイドが定着し、毎回20人前後の参加者があった。7月から9月はサマータイム制を試み、午後2時から4時までの参加者が参加しやすい時間帯でのガイドを実施できた。							
	課題 (できなかったこと)		7月から9月から試みたサマータイム制を、試行期間であったため、全く広報ができなかった。							
	指標名称				実績値			目標値		
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
ボランティアの参加数				4,906人	3,998人	3,025人	3,500人	4,000人		
他市との比較検証										
C 事業 コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				100	258	13 委託料		100,000 円	
	事業費		122	217	100	258	合計		100,000 円	
	特定財源			0	0	0				
	一般財源			217	100	258				
	職員人件費				0	0				
建設 事業	全体事業費		0		備考(補助名称等)					
	22年度迄の累積事業費		0							
	24年度以降の事業費見込									

会計名 一般会計			刈谷偉人伝作成事業				担当部 生涯学習部	
款 10			項 5			項 2	担当課 文化振興課	
目 10			目 5			目 2	課等長名 渡部 高幸	
						作成者 西村 知余子		
P A L A N 事業概要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 歴史・文化財 文化財の保護・伝承・活用					
	目的	刈谷市にゆかりのある人物を広く内外に紹介し、顕彰する。 また、幅広い年齢層の来場が見込まれる歴史博物館（計画中）での活用や、小中学生の歴史教材としてなど、様々な分野で刈谷市の歴史文化や魅力をPRできる手段とする。			主たる内容	刈谷市には、古来より徳川家康の生母於大（伝通院）、松本奎堂と宍戸弥四郎に代表される天誅組、工業都市刈谷の基礎を築いた豊田佐吉・喜一郎親子、フェライトの父加藤与五郎、書誌学者森銆三・童話作家の森三郎兄弟など、多くの偉人がいた。 これら刈谷市にゆかりのある人物をアニメ実写映画で紹介し、また顕彰するため、年次計画を作成し順次計6作品の映像化を実施する。		
	対象者	対象者を限定せず						
	実施方法	全部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画、刈谷市文化振興基本計画			
事業期間	H20～H26		根拠法令					
B D O 事業実績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
	・偉人6人(6組)の抽出。		・第1作目『維新の魁 天誅組』作成。		・第2作目『初代刈谷藩主 水野勝成物語』作成。 ・第1作目の頒布開始。		・第3作目『フェライトの父 加藤与五郎物語』(仮称)制作中。 ・第2作目の頒布開始。	
	成果 (できたこと)	総合式典で市民に公開するなど刈谷の偉人を市民に広く紹介するとともに、市内の小中学校等に寄贈した。小中学校を対象とした活用状況アンケートでは、寄贈した中学校で、歴史の研究授業の教材として使用したとの報告があった。						
	課題 (できなかったこと)	DVDの販売は頻繁にあるものの、市内でもまだ認知度はあまり高くない。今後は、現在と同様ホームページやチラシ等を展開しつつ、今以上に広く認知され、更に活用されるように周知に努めていく必要がある。 また、シナリオ作成の段階で関係者に確認・了承を得ようとしているが、歴史観が異なったり史実の確認があいまいだったりする場合、どのような対処を取るか、その対応に苦慮している。						
指標名称			実績値			目標値		
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度	
映像化実施作品数(全6作品)			-	1作品	2作品	3作品	5作品	
総頒布部数			-	-	77部	150部	300部	
他市との比較検証			郷土の偉人・文化人等を紹介するアニメDVDを作成している近隣市として、その事業実施方法・レベル・作成費用等を検証し、参考とした。 検証先・・・豊田市視聴覚ライブラリー『とよたの人物記』					
C 事業コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳	
	単位：千円				9,247	9,426	13 委託料	5,985,000 円
	事業費			5,985	5,985	6,000	合計	5,985,000 円
	特定財源			0	56	100		
	一般財源			5,985	5,929	5,900		
	職員人件費				3,262	3,426		
建設事業	全体事業費		0		備考(補助名称等)			
	22年度迄の累積事業費		0					
	24年度以降の事業費見込							

会計名 一般会計			民俗資料整理事業				担当部 生涯学習部
款 10			項 5				担当課 文化振興課
目 2			分野 教育文化 歴史・文化財 文化財の保護・伝承・活用				課等長名 渡部 高幸
							作成者 村瀬 典章
P L A A N 事業概要	目的	郷土資料館に保存されている民俗資料の保存と活用を図る。				主たる内容	郷土資料館に保存されている民俗資料を、現状確認、計測、クリーニング、保存場所の確認なども行い、資料台帳の整備を図るとともに、写真撮影も行い、デジタル化を行いパソコン上での閲覧を可能にする。
	対象者	対象者を限定せず					
	実施方法	全部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市歴史博物館基本計画		
	事業期間	H21～H22	根拠法令	博物館法			
	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画
_____		・デジタル化2,000件		・デジタル化2,000件		_____	
B D O 事業実績	成果 (できたこと)	郷土資料館に所蔵する民俗資料の整理を完了することが出来た。					
	課題 (できなかったこと)	民俗資料をデジタル化することにより、歴史博物館のデジタルミュージアムで市民に公開の予定。					
	指標名称			実績値			目標値
				20年度	21年度	22年度	23年度 25年度
	整理件数			-	2,000件	2,000件	- -
達成率			0%	50%	100%	- -	
他市との比較検証							
C 事業コスト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳	
	単位：千円			5,660		13 委託料	4,935,000 円
	事業費		4,830	4,935		合計	4,935,000 円
	財源	特定財源	4,830	4,935			
		一般財源	0	0			
		職員人件費			725	0	
建設事業	全体事業費		0	備考(補助名称等)			
	22年度迄の累積事業費		0	緊急雇用創出事業基金事業費補助金			
	24年度以降の事業費見込						

会計名 一般会計			出土遺物デジタルトレース作業委託事業				担当部 生涯学習部
款 10			項 5			目 2	担当課 文化振興課
						課等長名 渡部 高幸	
						作成者 鶴飼 堅証	
P L A A N 事業概要	分野 教育文化 歴史・文化財 文化財の保護・伝承・活用	埋蔵文化財の保存・活用のため					主たる内容 市内の遺跡から出土した遺物の実測図をデジタルトレースする。方眼紙に鉛筆で描かれた遺物の実測図をスキャナで読み取り、描画ソフトを用いてパソコン上でデジタルトレースすることで、デジタルデータとしての遺物図面を作成する。
	第7次総合計画 基本施策 施策の内容						
	目的						
	対象者	対象者を限定せず					
	実施方法	全部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画		
事業期間	H21～H23	根拠法令	文化財保護法				
B D O 実績	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度計画			
	_____	・出土遺物1,200点のデジタルトレースを実施	・出土遺物600点のデジタルトレースを実施	・出土遺物600点のデジタルトレースを実施			
	成果 (できたこと)	遺跡の報告書作成に向けてのトレース作業が効率よく進んだ。それと同時にアナログの紙媒体による記録保存だけでなく、デジタルデータとしても保存することができた。また将来的に実施するデジタル記録の公開に向けたデータソースを得ることができた。					
	課題 (できなかったこと)	本事業は平成23年度までの緊急雇用創出事業基金事業費補助金で実施するものであるため、次年度以降の実施について検討する必要がある。またデジタルミュージアムの構築など、公開方法を検討する必要がある。					
	指標名称	実績値			目標値		
	20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
デジタルトレース点数	-	1,200	600	600	-		
他市との比較検証							
C 事業コスト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳	
	単位：千円			3,287	3,732	13 委託料	
	事業費		3,717	2,562	2,590	合計	
	特定財源		3,717	2,562	2,590	2,562,000 円	
	一般財源		0	0	0	2,562,000 円	
	職員人件費			725	1,142		
建設事業	全体事業費	0	備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費	0	緊急雇用創出事業基金事業費補助金				
	24年度以降の事業費見込						

会計名 一般会計			村上文庫デジタル化委託事業				担当部 生涯学習部	
款 10			項 5				担当課 文化振興課	
目 2			分野 教育文化 歴史・文化財 文化財の保護・伝承・活用				課等長名 渡部 高幸	
							作成者 村瀬 典章	
P L A A N 事業概要	目的	村上文庫のマイクロフィルムからデジタル化を行い、パソコンで閲覧できるようにするなど、保存活用の幅を広げる。				主たる内容	村上文庫をスキャニングし、デジタル画像として新たに保存するとともに、パソコン上で容易に閲覧できるようにする。	
	対象者	対象者を限定せず						
	実施方法	全部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画			
	事業期間	H22～H23		根拠法令				
B D O 実績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
	_____		_____		・フィルム検査、リスト作成 2,172本分 ・マイクロフィルム再撮影 250本×500コマ ・村上文庫デジタル化 500コマ×10,000本		・村上文庫デジタル化 500コマ×1,250本	
	成果 (できたこと)	平成24年度中よりデジタル化の公開ができるようにフィルムの検査・リストの作成を行った。また、デジタル化の作業を開始した。						
	課題 (できなかったこと)	平成22年度、23年度に緊急雇用創出事業基金事業費補助金で実施するものである。村上文庫のデジタル化によりパソコン上で容易に閲覧でき、市内外の調査研究に便宜を供することができる。23年度で全体の3分の2のデジタル化を予定しているが、全てをデジタル化しないとデータとして公開することができないため、全体を確実に行う必要がある。						
	指標名称			実績値			目標値	
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度
完成度			-	-	40%	100%	100%	
他市との比較検証		名古屋市蓬左文庫						
C 事業コスト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳	
	単位：千円				49,025	66,005	13 委託料	48,300,000 円
	事業費				48,300	65,625	合計	48,300,000 円
	特定財源				48,300	65,625		
	一般財源				0	0		
	職員人件費				725	380		
	建設事業		全体事業費		0	備考(補助名称等)		
		22年度迄の累積事業費		0	緊急雇用創出事業基金事業費補助金			
		24年度以降の事業費見込						

会計名			歴史博物館建設事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	2					作成者	西村 知余子	
P 事業概要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 歴史・文化財 歴史博物館の整備						
	目的	歴史、考古、民俗、古文書などに関する資料を収集し、貴重な文化的遺産の散逸を防ぎ、後世に残すとともに広く一般公開し、歴史研究の一助とする。また、刈谷の祭りを紹介しながら実際に体験できるようにし、来館者に対して親しみやすさと愛着、地理的特徴を兼ね備えた施設とすることを旨とする。				主たる内容	常設展示室・企画展示室・公文書館・埋蔵文化財センター・祭り会館・収蔵庫・燻蒸室・体験教室・研修室・事務室等の設置を行う。そこには、修復の完了した2台の山車と県の無形民俗文化財『万燈祭』で使用する大万燈の展示も予定し、ボランティア等が活動できるようにする。		
	対象者	対象者を限定せず							
	実施方法	全部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画、刈谷市歴史博物館基本計画				
	事業期間	H21～H27	根拠法令	博物館法、公文書館法、文化財保護法					
B 事業実績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
			・歴史博物館基本構想策定		・歴史博物館基本計画策定 ・基本計画策定に伴い、パブリックコメントを実施、公表。		・歴史博物館基本設計(建物設計、展示設計)策定予定 ・ポーリング調査委託予定		
	成果 (できたこと)	パブリックコメントでいただいた意見を反映させつつ、市民(利用者)が市の歴史に親しみ、自ら学ぶことが出来る拠点となることを盛り込みながら歴史博物館基本計画を策定することが出来た。最低想定規模(延床面積)4,500㎡が確保可能となったことで、当初より予定している収蔵品展示面積や館内機能の確保に目途がついた。							
	課題 (できなかったこと)	建物設計と展示設計と調整を密に行い、連携を図りながら建物建設に移行していけるよう、事業を進める必要がある。また、地元保存会やボランティア団体と協働で円滑かつ理想的な館運営が実現できるかどうか、今後一層の調整と考察が必要であると考えられる。							
	指標名称			実績値			目標値		
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
建物建設進捗状況			-	-	基本計画	基本設計	建設工事		
他市との比較検証			近隣市の地方自治体が管理する博物館等の延床面積を比較検証し、刈谷市における博物館建設規模確定の参考とした。 ①安城市歴史博物館(延床面積 4851.69㎡) ②高浜市かわら美術館(延床面積 4669.48㎡) ③岡崎市美術博物館(延床面積 6468㎡) ④豊橋市美術博物館(延床面積 3781.41㎡)						
C 事業コスト	総事業コスト	20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(予算)	平成22年度事業費内訳			
	単位：千円			7,367	64,307	13 委託料	4,830,000 円		
	事業費			4,830	60,500	合計	4,830,000 円		
	財源	特定財源			0	0			
		一般財源			4,830	60,500			
		職員人件費			2,537	3,807			
	建設事業	全体事業費	3,097,400		備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費	4,830							
	24年度以降の事業費見込	3,032,070							

会計名 一般会計			中条遺跡発掘調査事業				担当部 生涯学習部
款 10			項 5				担当課 文化振興課
目 2			分野 教育文化 歴史・文化財 文化財の保護・伝承・活用				課等長名 渡部 高幸
							作成者 鶴飼 堅証
P L A A N 事業概要	目的	埋蔵文化財の保存・活用のため。				主たる内容	土地区画整理事業計画に先駆けて平成9～12年度に実施した中条遺跡の発掘調査で出土した遺物および調査記録を整理・保存し報告書を作成することにより、刈谷市域の歴史解明の一助とする。 作業は有識者による非営利組織である刈谷市埋蔵文化財発掘調査会へ委託。 発掘調査で出土した遺物の洗浄・注記・接合・復元・実測等の整理作業を行う。 平成13年度以降は室内整理作業のみ。
	対象者	対象者を限定せず					
	実施方法	全部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画		
	事業期間	H9～	根拠法令	文化財保護法			
B D O 事業実績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画
	・平成11年度分接合作業 ・平成11年度分復元作業 ・平成11年度分実測作業		・平成11年度分復元作業 ・平成11年度分実測作業 ・平成11年度分拓本作業 ・平成11年度分断面実測作業 ・平成9年度分遺構図面整理作業		・平成11年度分実測作業 ・平成11年度分拓本作業 ・平成11年度分断面実測作業 ・平成9年度分遺構図面整理作業		・平成11年度分実測作業 ・平成11年度分拓本作業 ・平成11年度分断面実測作業 ・平成9年度分遺構図面整理作業
	成果 (できたこと)	各年度ごとに作業手順を決め、着実に資料化を進めることができた。					
	課題 (できなかったこと)	刈谷の古代・中世に関する新資料が多くあるため、報告書刊行により早期に公開する必要があるが、出土遺物の量が膨大なため整理作業に時間がかかっている。また一部の遺物保管場所が作業場所と離れていることや作業スペースが狭いことから効率が悪くなっている。					
指標名称			実績値			目標値	
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度
平成9年度発掘調査分整理作業進捗率			60%	70%	80%	90%	100%
全体整理作業進捗率			55%	60%	65%	70%	80%
他市との比較検証							
C 事業コスト	総事業コスト	20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳	
	単位：千円			5,725	6,523	13 委託料	5,000,000 円
	事業費	5,700	5,000	5,000	5,000	合計	5,000,000 円
	財源		0	0	0		
	特定財源		5,000	5,000	5,000		
	一般財源						
職員人件費			725	1,523			
建設事業	全体事業費	0		備考(補助名称等)			
	22年度迄の累積事業費	0					
	24年度以降の事業費見込						

会計名			埋蔵文化財発掘調査事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					課等長名	渡部 高幸		
10	5	2					作成者	鶴飼 堅証		
P 事業概要	第7次総合計画	分野 基本施策 施策の内容	教育文化 歴史・文化財 文化財の保護・伝承・活用							
	目的	埋蔵文化財の保護・保存のため。				主たる内容	開発事業等に先立ち、市内の遺跡およびその近接地の試掘調査を行い、埋蔵文化財の有無を確認するとともに埋蔵文化財の取扱いについて説明・指導する。開発に伴う土木工事が遺跡へ影響を及ぼすものについては、事業者と協議のうえ緊急的な発掘調査を行い、記録保存によって遺跡の消失を防ぐ。窓口や文書での有無確認や試掘調査・工事立会は直営で行い、緊急発掘調査については有識者からなる非営利組織である刈谷市埋蔵文化財発掘調査会へ委託する。			
	対象者	開発事業者及び市民								
	実施方法	一部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画					
	事業期間	H13～		根拠法令	文化財保護法					
B 事業実績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	a 窓口照会 471件 b 試掘調査 21件 c 工事立会 16件 d 緊急発掘調査 1件 ・大西東貝塚発掘調査		a 窓口照会 469件 b 試掘調査 9件 c 工事立会 11件 d 緊急発掘調査 1件 ・宮東第1号貝塚確認調査		a 窓口照会 604件 b 試掘調査 36件 c 工事立会 17件 d 緊急発掘調査 3件 ・宮東第1号貝塚確認調査 ・西石根8・9号窯確認調査 ・中条遺跡確認調査		a 窓口照会 500件 b 試掘調査 20件 c 工事立会 15件 d 緊急発掘調査 1件 e 民間審査機関の建築確認における未対応件数 55件 ・該当 10件 ・近接 45件			
	e 民間審査機関の建築確認における未対応件数 81件 ・該当 11件 ・近接 70件		e 民間審査機関の建築確認における未対応件数 59件 ・該当 12件 ・近接 47件		e 民間審査機関の建築確認における未対応件数 95件					
	成果 (できたこと)	直営による試掘調査および開発事業者への埋蔵文化財の取扱い説明・指導について、迅速に行うことができた。緊急発掘調査は事業者と十分に協議し、最大限可能な範囲での調査面積・調査期間を設け実施し、必要な記録保存を行うことができた。事前の確認調査で遺跡の存在・位置を特定したことにより、開発事業計画地から遺跡の部分が除外されることになり、破壊を前提とした記録保存ではなく現地保存にもっていくことができた(22年度1件)。								
	課題 (できなかったこと)	緊急発掘調査はその年度により発生件数に差があるため、多数生じた場合、現状の予算では年度内に対応できない状況が起こりうる。そのため調査において相当のコスト削減や調査期間短縮を考えなければならず、通常の発掘調査に比べ記録保存の観点からは調査精度が低下していることが否めない状況にあり、改善の余地がある。民間の審査機関へ建築確認申請されたもののうち、埋蔵文化財への対応ができていないものがあり(事後報告のため)、手続きの周知を強化する必要がある。								
指標名称			実績値			目標値				
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度			
窓口照会件数			471	469	604	500	600			
対応率(b+c+d)/(b+c+d+e)			31.9%	26.3%	37.1%	39.5%	40%			
他市との比較検証										
C 事業コスト	総事業コスト	20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(予算)	平成22年度事業費内訳				
	単位：千円			4,215	4,799	7 賃金	2,430,080 円			
	事業費	714	181	3,127	3,276	13 委託料	697,100 円			
	特定財源		0	0	0	合計	3,127,180 円			
	一般財源		181	3,127	3,276					
	職員人件費			1,088	1,523					
建設事業	全体事業費	0		備考(補助名称等)						
	22年度迄の累積事業費	0								
	24年度以降の事業費見込									

会計名			施設管理事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	文化振興課	
款	項	目					課等長名	渡部 高幸	
10	5	6					作成者	西村 知余子	
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 歴史・文化財 文化財の保護・伝承・活用					
	目的		国の登録文化財である「刈谷市郷土資料館」の適切な施設管理を図るため。			主たる内容	都市施設管理協会への指定管理料と、国の登録文化財になっている建物の管理全般にかかる予算の執行を行う。 また、館内で企画されるイベントの実施を行う。		
	対象者		対象者を限定せず						
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画	刈谷市文化振興基本計画			
	事業期間		不明～		根拠法令				
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画		
	成果 (できたこと)		平成17年度より指定管理者制度を導入し、以後、講座の実施、建物管理を指定管理者に任せている。事業主体が指定管理者側になったことにより、企画展等の運営や施設設備等の管理に指定管理者のノウハウを反映できるようになり、円滑な運営と住民サービス向上が図られたと考えられる。						
	課題 (できなかったこと)		平成22年度は休館して改修工事を実施したため、指定管理は光熱費等の管理が中心になった。平成23年度からは、郷土資料館がリニューアルオープンしたが、より一層多くの入館者に利用しやすい施設づくりに努めていく必要がある。						
	指標名称		実績値			目標値			
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
総入館者数		7,784人	8,372人	—	10,000人	11,000人			
他市との比較検証									
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳		
	単位：千円				3,409	19,977	12 役務費	79,062 円	
	事業費		9,945	14,281	2,322	18,835	13 委託料	2,243,090 円	
	特定財源			0	0	0	合計	2,322,152 円	
	一般財源			14,281	2,322	18,835			
	職員人件費				1,087	1,142			
建設事業	全体事業費				備考(補助名称等)				
	22年度迄の累積事業費								
	24年度以降の事業費見込								

会計名			郷土資料館改修事業				担当部	生涯学習部		
一般会計							担当課	文化振興課		
款	項	目					課等長名	渡部 高幸		
10	5	6	作成者	松本 育子						
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 歴史・文化財 文化財の保護・伝承・活用						
	目的		国登録文化財「刈谷市郷土資料館」の保護・活用のため。			主たる内容	「刈谷市郷土資料館」の改修工事を行うことで地震等に耐えうる建物にし、来館者の安全を確保するとともに、展示をリニューアルする。 文化財の保護保存・活用および来館者に対する安全対策のため、国の登録文化財である「刈谷市郷土資料館」の改修工事を行う。また、建物自体が文化財であるため、その歴史的価値が失われないようにする。			
	対象者		対象者を限定せず							
	実施方法		全部委託	位置づけ	関連計画					
事業期間		H19～H22		根拠法令	文化財保護法					
B D O 実 績	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	・基本設計実施		・実施設計実施		・刈谷市郷土資料館の改修工事完了。 ・昭和30年代のくらし再現展示など展示内容をリニューアルした。		・リニューアルオープン			
	成果 (できたこと)		「刈谷市郷土資料館」の改修工事を完了した。新たに昭和30年代の教室や民家の部屋の再現展示を加えるなど、館内のリニューアルができた。							
	課題 (できなかったこと)		展示ケース自体が古く、リニューアル展示にそぐわない点がある。							
	指標名称			実績値			目標値			
				20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
工事の進捗率			10.0%	30.0%	100%	100%	-			
入館者数			7,784人	8,372人	-	10,000人	11,000人			
他市との比較検証										
C 事 業 コ ス ト	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				87,693					
	事業費			4,515	84,069		11 需用費	606,900 円		
	特定財源			0	0		13 委託料	6,104,254 円		
	一般財源			4,515	84,069		15 工事請負費	77,357,700 円		
	職員人件費				3,624	0	合計	84,068,854 円		
建設事業		全体事業費		0	備考(補助名称等)					
		22年度迄の累積事業費		0						
		24年度以降の事業費見込								

会計名			総合文化センター開館記念事業費				担当部	生涯学習部		
一般会計			開館記念式典及び開館記念事業開催事業				担当課	文化振興課		
款	項	目					課等長名	渡部 高幸		
10	5	13					作成者	西川 瑛輔		
P L A A N	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 文化・芸術 鑑賞・体験の機会づくり						
	目的		総合文化センターにおいて、質の高い公演や親しみやすい公演を開催することで、広くセンターを周知すること及び身近なところでの鑑賞機会を提供することで市民の文化芸術意識の向上を図る。			主たる内容		平成22年度を開館記念と位置づけ、1年を通して様々な公演を開催し、刈谷市総合文化センターを市民にアピールする。 全事業15事業		
	対象者		対象者を限定せず							
	実施方法		全部委託	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画			
	事業期間		H22～H22		根拠法令					
B D O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画			
	成果 (できたこと)		1年を通して様々な公演を開催することで、刈谷市総合文化センターを市内外にアピールすることが出来た。特にいくつかの公演は通常の自主事業では開催することのできないアーティストを招聘することができ、これまで刈谷に来たことのない人々も多く来場した。							
	課題 (できなかったこと)		次年度以降、親しみやすい事業の開催に加え、市民参加型の事業を行うこと等により、継続して文化センターに来場する機会を増やし、センターに市民の方々が愛着を持ってもらえるような取組みを検討する必要がある。							
	指標名称		実績値			目標値				
			20年度	21年度	22年度	23年度	25年度			
入場者数		-	-	13,022人	-	-				
他市との比較検証		総合文化センターと同じく開館時より指定管理者制度を取り入れ、近年開館した兵庫県三田市「三田市総合文化センター 郷の音ホール」、広島県三原市「三原市芸術文化センター ポポロ」を参考に事業の内容を考慮した。								
C	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳			
	単位：千円				142,342					
	事業費				136,906		11 需用費	9,382 円		
	特定財源				45,882		12 役務費	5,306,449 円		
	一般財源				91,024		13 委託料	128,291,744 円		
職員人件費				5,436		14 使用料及び賃借料	3,298,838 円			
建設事業		全体事業費		0	備考(補助名称等)		合計 136,906,413 円			
		22年度迄の累積事業費		0						
		24年度以降の事業費見込								

会計名 一般会計			総合文化センター開館記念事業費				担当部 生涯学習部	
款 項 目 10 5 13			開館記念市民協働公演開催事業				担当課 文化振興課	
							課等長名 渡部 高幸	
							作成者 西川 瑛輔	
P A L A N N O O O	第7次総合計画		分野 基本施策 施策の内容	教育文化 文化・芸術 創作・発表の機会づくり				
	目的		本市が誇る無形民俗文化財「万燈祭」を題材に、市民や民間団体との協働事業を実施することにより、多くの市民が直接・間接に創造へ参加し、人と人との絆を深め、故郷への誇りと愛着を深める。		主たる内容		市民音楽劇「万燈の輝く夜に」 本市が誇る無形民俗文化財・万燈祭を題材に、故郷への思い、刈谷への賛歌、人間への賛歌を表現する音楽劇を創作、上演。 公演日 6月26日・27日、 7月3日・4日	
	対象者		対象者を限定せず					
	実施方法		一部委託	位置づけ	関連計画 刈谷市文化振興基本計画			
	事業期間		H20～H22		根拠法令			
B D O O	20年度実績		21年度実績		22年度実績		23年度計画	
	・市民スタッフ研修		・作曲作業 ・出演者スタッフ決定 ・市民スタッフ研修 ・台本決定 ・出演者顔合わせ ・稽古開始		・稽古 プレイベント ・本公演 市民音楽劇「万燈の輝く夜に」開催		_____	
	成果 (できたこと)		4回公演の有料入場者数は2,625名、入場率は6割程度であった。このほか児童生徒の招待、親子鑑賞優待を行い、故郷愛を醸成する気運を高めることができた。内容に関しても入場者アンケート結果などから概ね好評であった。					
	課題 (できなかったこと)		この事業は、当初の予定を越える調整が必要だった。今後も、周年事業等での市民による舞台芸術作品の創造を支援することが、刈谷独自の舞台芸能文化の振興につながると考え、その担い手育成のため、市民参加を含め、継続して取り組む必要がある。					
	指標名称		実績値			目標値		
		20年度	21年度	22年度	23年度	25年度		
入場者数		-	-	3,071人	-	-		
他市との比較検証		知立市で行われている市民参加型の演劇公演「しみん劇」の広報・印刷物を参考にした。 平成23年度第11回しみん劇「決定版 十一びきのネコ」						
C S T O O	総事業コスト		20年度 (決算)	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (予算)	平成22年度 事業費内訳	
	単位：千円				20,719		19 負担金、補助及び 交付金	14,920,242 円
	事業費				14,920		合計	14,920,242 円
	特定財源				6,024			
	一般財源				8,896			
	職員人件費				5,799			
建設事業		全体事業費		0	備考(補助名称等)			
		22年度迄の累積事業費		0				
		24年度以降の事業費見込						